平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	8	事業No.	33		
事務事業名	交通体系整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	リニア推進課	開始	H10	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画			
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	市民の地域公共交通利用

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	
	・市民バスの利用者は高校生の通学、一般の通勤が中心で平成27年度をピークに減少傾向にあります。路線によっては乗車率が低い状況が続いています。 ・乗合タクシーの利用状況は、ほぼ横ばいであり、新たな利用者の獲得が必要です。 ・公共交通に係る国補助金の減少に伴い、市の支出が増大しており持続可能な体系構築が急務となっています。 ・JR飯田線の活性化に向け、期成同盟会と歩調を併せて進めていきます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	交通弱者等の移動手段を確保するため、市民バス９路線、乗合タクシー１３路線の運行支援を行います。 地域公共交通改善市民会議や南信州地域交通問題協議会と連携して、運行に関する改善や利用促進のPR活動を行います。 利用促進の取組として、路線バスの更新時に飯田下伊那の高等学校にアイデアを出してもらい、バスラッピングを実施します。	一般乗合旅客自動車運送事業補助金	108,555
		地域公共交通改善市民会議負担金	2,740
		南信州広域連合負担金（南信州地域交通問題協議会）	1,769
		広域バス駒場線バスラッピング業務委託	1,178
		地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか	237
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
	運行支援する市民バス路線数	路線	9	9		
	運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14	13		
	地域公共交通改善市民会議開催数	回	2	2		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	114,479	（県）地域発元気づくり支援金（３／４）
	国庫支出金	0	（地）過疎対策事業債（100%）
	県支出金	882	（そ）地域振興基金利子　5,916千円
	地方債	37,500	（そ）過疎地域自立促進基金繰入金　859千円
	その他	6,775	
	一般財源	69,322	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	114,479 / 0	市民バス等運行業務費
2								
3								
4								
5								
6								
7								